

校長室より

令和 4年12月19日
校長 植野 博之



寒さが厳しくなってきた、生徒達も肩をすくめて歩く姿が見られるこの頃です。令和4年も、終わりに近づき、令和5年に移ろうとしています。

皆さんにとって令和4年はどんな年だったでしょうか？

令和4年は、干支は、虎でした。虎は勇猛果敢で決断力や才覚のある動物です。皆さんも何か新しいことに挑戦したり、その時、その時で決断して、うまくいったり、失敗したこともあったと思います。成功も失敗も含めて、挑戦したり、距離をおいたりすることも含めて自分の財産になってきたと思います。令和5年はうさぎ年です。卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」やその跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。「成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われていています。

鳶目兎耳（えんもくとじ）という言葉があります。鳶の目は遠くのことまで目ざとく見つけ、兎の耳はささいな音も聞きもらさないという意味で、そんな耳と目を持って、いろんな情報を集めて自分なりに整理して飛躍の年になるといいですね。



ロボットプログラミング選手権2022 準優勝 5位入賞!

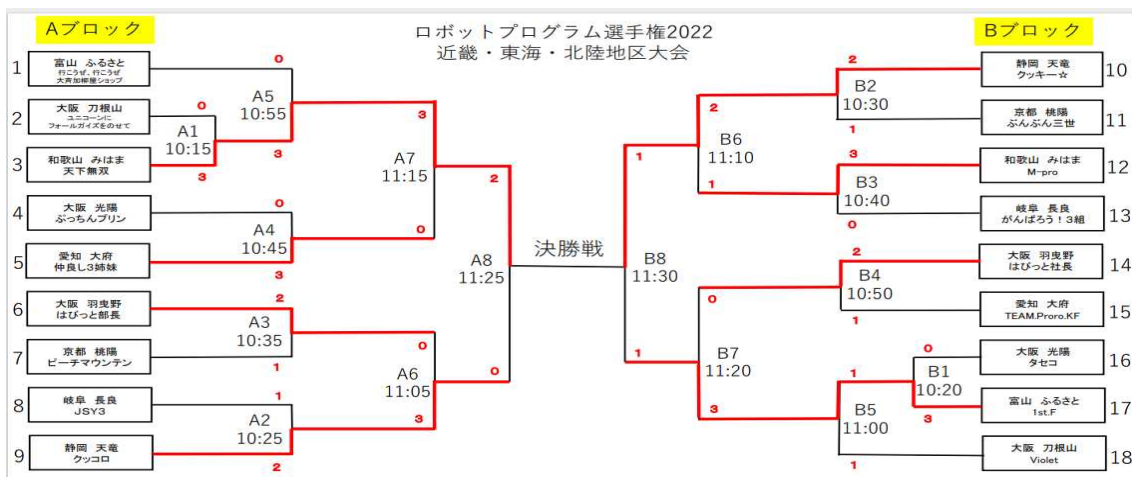
11月25日（金）にロボットプログラミング選手権2022 近畿・東海・北陸地区大会が行われ、全18チームが参加しました。和歌山県みはま支援学校は、2チームが参加し、見事、準優勝と5位に入賞しました。2月1日の全国大会に2チームとも参加します。



決勝戦も本当に僅差で敗れましたが、全国大会へ向け、総合のロボットプログラミングチームの生徒達もさらに意欲を燃やしています。

戦いを通して、みんなで考えたプログラムで勝ち進めたことで、サッカーワールドカップの日本チームのように、さらに一体感が深まりました。

全国大会での活躍を期待します。



一学部 冬の病棟行事（クリスマス）

一学部では春、夏、秋、冬にそれぞれの季節に合わせた病棟行事が開かれます。

今年も一学部（和歌山病院入院生）の児童生徒にとっては、とっても楽しみな冬の病棟行事であるクリスマス会が開かれました。

サンタさん、トナカイさんの登場に歌にダンス、クリスマスプレゼントといったワクワクする催しに、さらにイルミネーションを使いながらの冬らしい厳かな雰囲気も味わいました。サンタさんと共に、とっても素敵な時間を過ごすことができました。



テレロボ メタバースに挑戦中

みはま支援学校では、ニューメディア協会と連携し、学校生活でロボットを活用しながら、何か生徒達が楽しくなる活動や取組ができないか研究中です。ロボット（テレピーとKUBI）を協会から借用しています。

生徒が遠隔で操作して、行事や授業に参加したり、また昨今、世間でよく聞かれるアバター等を活用したメタバースといわれる仮想空間上での取組を学校生活に活用できないかも模索しています。

例えばアバター（自分の分身）が、メタバース上で本校の学校自慢（生徒作品や活動等）を紹介したり、遠く離れた会場と学校を繋ぎ、遠隔でロボット操作して、その臨場感を感じる等です。まだまだ模索の段階ですが、生徒がワクワクすることが増えればいいなと思います。

自分の意思で動かせるロボット

テレピー



KUBI



メタバース研究中

